

第5 学年英語科学習指導案

1 単元名 Lesson2 「How many CDs do you have?」

2 単元について

本単元は、ショッピングモールや商店を舞台とした買い物の場面を想定しながら、物の数や値段を伝えたり、尋ねたりする活動をする単元である。海外では、店に入って店員とあいさつを交わしたり、自分の気分や状態を伝えたりすることがある。そうした状況を想定し、学習の前半では、自分の気分や状態を伝える内容を学習する。後半では、物の数を尋ねたり、値段を聞いたり段階を追って内容を深めていく。自分の気分や状態、物の数や値段を尋ねたり伝えたりする活動を通して、積極的にコミュニケーションをすることを目指している。

3, 4年生で学習した「自分の感情や状態を伝えること」、「物の数を尋ねたり数えたりすること」で慣れ親しんだ表現を思い出し、これまでより表現力豊かに自分の気分を伝え合ったり、物の数や値段をたずね合ったりして、英語でのコミュニケーションの幅を広げていくことが期待される。

本単元の目標文は「I' m thirsty.」「How many CDs do you have? -I have twenty CDs.」「How much is this bag? -It' s 800 yen. 」となっており、先述したようにあいさつや自分の気分や状態を伝える表現から、物の数を尋ねたり答えたりすること、物の値段を尋ねたり答えたりすることへと段階的に深められるようになっている。

5年生から始まった外国語科の学習も既に2か月近くが経過し、少しずつ授業の形に慣れてきているところである。3, 4年生の外国語活動の時間に学習したことを踏まえ、より高度で実践的な内容へと進んでいる。既習の表現を存分に活かし、より発展的な内容へとつなげ、児童の外国語学習への自信と意欲を高めていきたい。そこで、本単元では、低・中学年の時に経験した「お店屋さんごっこ」の要領で、店員と客に分かれて買い物の疑似体験を行う。低・中学年の時に経験したお店屋さんごっこでは、欲しいものや数を尋ねたり、それに答えたりする形の買い物体験を行っていた。本単元では、さらに実践的な視点から、客側が値段を尋ねる表現や、店側が値段を答える表現を学習し、それらを使った買い物体験をさせて、指導事項の定着や活用、児童の自信と意欲を育みたい。

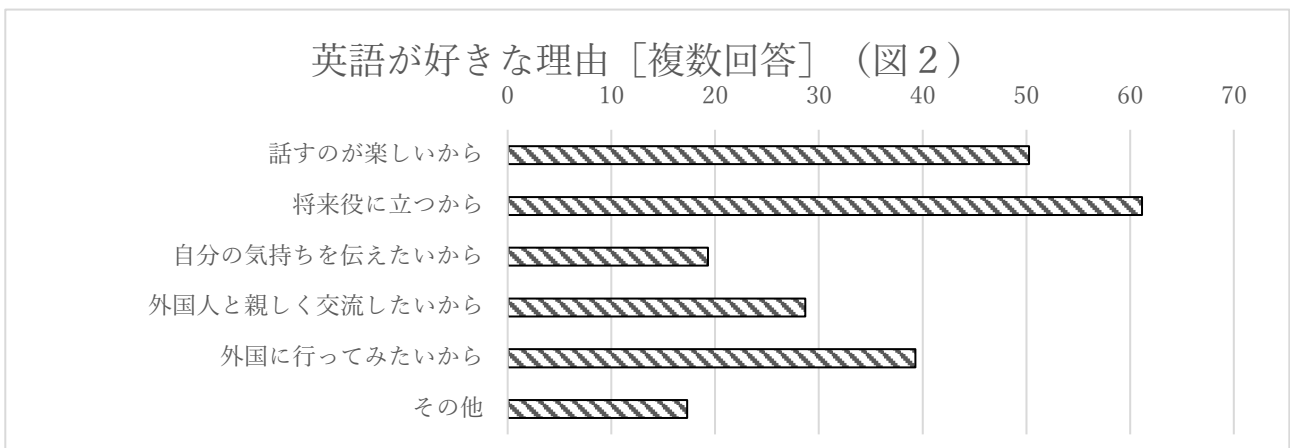
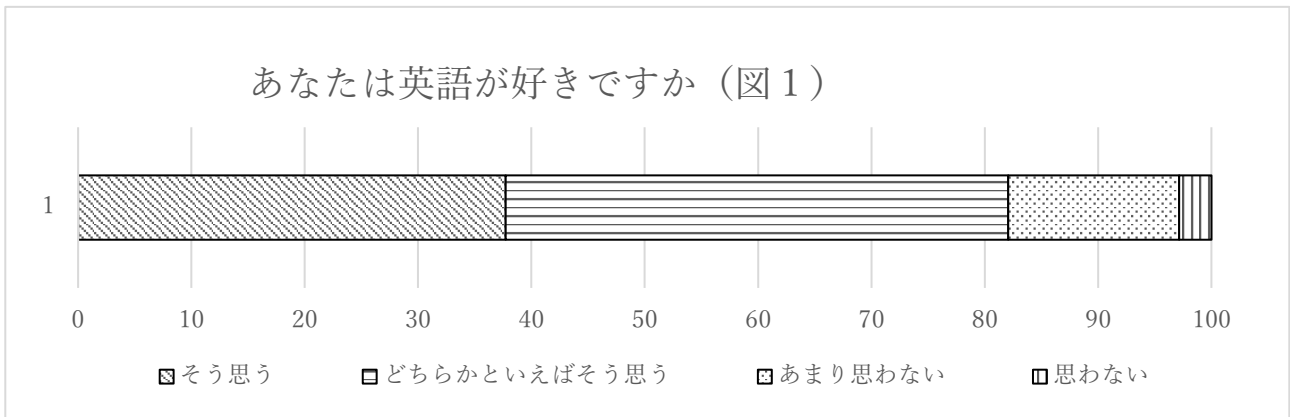
また、5年生は7月に林間学校がある。林間学校では、それぞれがお小遣いを持っていき、自分の判断で実際にお土産を買うことができる。それを踏まえて本単元では、「林間学校でお土産を買うときの練習をしよう」というゴールを設定している。店側には自分たちで設定した値段のお土産を用意させ、客側には設定した金額内で買い物ができるように気をつけながらお土産を購入させる。無駄なくお土産を買えるように考えながら、値段を尋ねる必要感をもたせ、英語で買い物をする練習へとつなげていきたい。

指導していくにあたり、1~1000 までの数、お土産などの物品の言い方を十分に繰り返し聞かせる活動を行ったうえで、自分が欲しい物の値段を尋ねたり答えたりする活動を行う。児童の間違った発話に対しては、間違いを指摘するのではなく、教師が正しく言い直すことで少しずつ改善できるように単元を通して意識して指導していく。

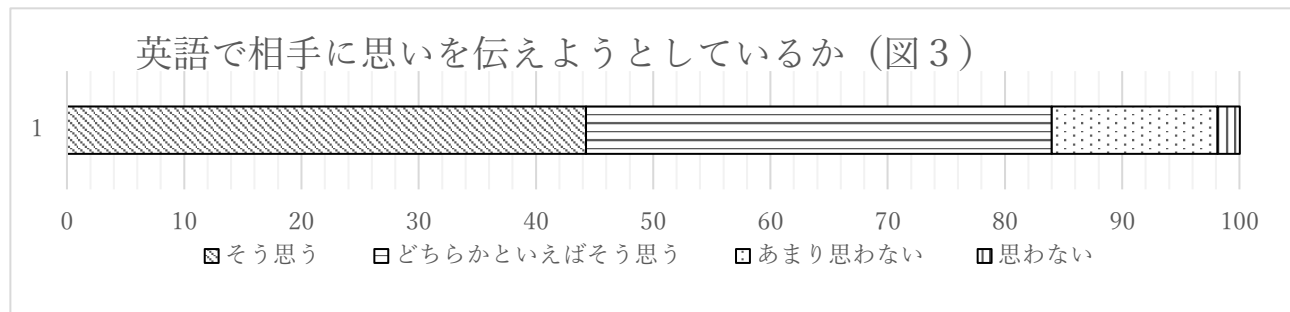
3 児童の実態について

研究調査（令和5年5月実施 n=107）からみる児童の実態は以下の通りである。

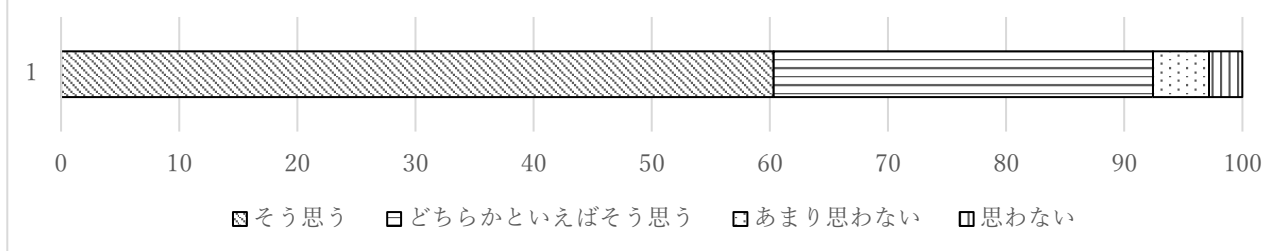
8割以上の児童が「英語が好き」「どちらかといえば好き」と答えている（図1）。理由として、「将来役に立つから」が一番多かった（図2）。英語の学習が、今後の進学や職業選択につながる可能性があるということを理解している児童が多いと考えられる。次いで「話すのが楽しいから」という理由が挙げられており、英語でのコミュニケーションを楽しんでいることもうかがえる。一方で、英語が「好きではない」理由としては、「発音が難しいから」「英語が覚えられないから」と、英語が難しいと感じていることが挙げられていた。



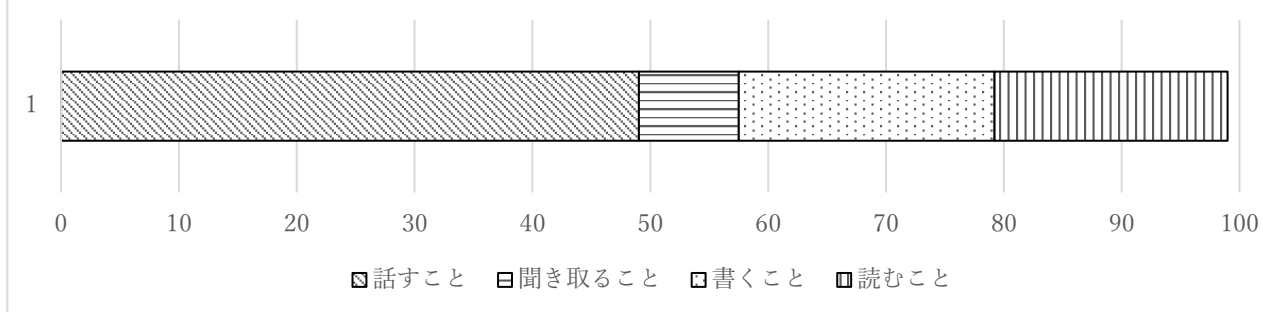
また、「英語を使って思いを伝えようとしている」児童は8割以上（図3）、「英語をこれからも学び続けたい」と考えている児童は9割以上いることが分かった（図4）。



これからも英語を学び続けたいか (図4)



英語の何ができるようになりたいか (図5)



これらのことから、児童は英語は将来につながるという必要性を理解し、英語での活動を楽しんでいる一方で、英語を覚えることや話すことの困難さから英語を好きでないと考えている児童もいることが考えられる。覚えられなかったり、発音が難しいと感じたりしているものの、好きではなくても大人になったら役立つから英語を学び続けたいと現実的に考える児童が多かった。

また、英語でできるようになりたいことについて尋ねると、「話すこと」が一番多く、半数近くになった(図5)。次いで、「書くこと」「読むこと」「聞くこと」となっており、児童は英語を使って思いや考えを発信する力を身につけたいと考えていると思われる。発音に難しさを感じ、思うように話せないために英語を好きでないと感じているので、ALTの正しい発音を繰り返し聞き、繰り返し発話をする必要があると考える。児童がある程度自信のある「聞くこと」から「話すこと」へとつなげることで英語が話せたという成功体験を積み、英語が好きになるようにしていきたい。さらに、十分に慣れ親しんだ言葉を「書くこと」「読むこと」にも行いながら、これからの学習でもこれらの活動をバランスよく取り入れていく。そうすることで児童の英語への関心呼び起こし、英語の習得へとつながっていくと考えられる。

4 研究主題、仮説及び手立て

(1) 研究主題

自ら学び、進んで考えや気持ちを伝え合うことができる児童の育成

(2) 研究仮説

「言語活動を通して」コミュニケーションを図る指導と、目標と対応した評価の一体化を実現することで考えや気持ちを伝え合う力を育むことができ、自ら学ぶことができる児童を育成することができるであろう。

(3) 手立て

手立て1 「言語活動を通して」資質・能力を育成する指導の工夫

- ①児童にとって魅力的な目的、場面、状況の設定
- ②効果的な Small Talk の工夫
- ③言語活動を通して「聞く」「話す」「読む」「書く」指導の工夫
- ④児童に意欲と自信をもたせる教師の働きかけの工夫
- ⑤それぞれの学習場面に応じて効果的な I C T 活用

手立て2 目標と指導と評価の一体化を図る工夫

- ①目標に対応した評価規準の明確化
- ②指導と評価に生かすことができる学習カード、振り返りカードの工夫
- ③児童の学習改善、教師の指導改善に生かすことができる I C T 活用

(4) 本単元での重点取組

1 - ①児童にとって魅力的な目的、場面、状況の設定

本単元では、「林間学校でお土産を買うときの練習をしよう」というゴールを設定した。7月に行われる林間学校は児童にとって楽しみな行事の一つである。また、その中でも買い物の時間は、限られたお小遣いを上手に使う自分や家族のためのお土産を買うという児童にとって、かけがえのない経験である。本時の学習では、この経験を模した疑似体験を行うことで、児童にとって魅力的な場面設定になると考えた。「How much?」の表現は、買い物の場면을想定しないと使う機会も少ないことから、自然な流れで発話をする可以考虑。児童が楽しみとしている林間学校での買い物の時間という設定をすることで、意欲的に活動に参加させたい。

1 - ⑤それぞれの学習場面において効果的な I C T 活用

本単元のゴールの活動として買い物活動を行うが、商品やお金を実際に用意するのは難しく、紙ベースで準備するにも相当な時間と労力が必要になる。しかし、会話だけの買い物活動では現実味が全くなく、児童の意欲に繋がっていかない。そこで、Chromebook のカメラアプリに標準搭載されている QR コードスキャナーと、無料で使用できる QR コード作成ソフト、さらには学習支援ソフトミライシードを活用し、実際に買い物に近い形で活動を行えるようにする。具体的な使い方としては、店側は商品の写真と値段、値段の QR コードが一つになっているカードをミライシードのオクリンクで作成する。客側が注文した商品を選択して QR コードを表示させ、客側にスキャンしてもらう。そして会計が済んだら商品のカードをオクリンクの個別送信機能で送信する。手数が多いため、店側は基本的にペアで行うようにする。客側はカメラアプリの QR コードスキャナーを使用して店側に表示してもらった QR コードを読み取る。値段が表示されるので正しいかどうかを確認し、購入完了とする。その後オクリンクに買った商品が送られてくるので、カードを連結して保管し、最後に提出ボックスへ提出する。キャッシュレス化が進む現代では、現金を持ち歩かない人が増えてき

ている。時代の流れからも今回のようなキャッシュレス決済に近い活動には価値があると考えられる。便利な一方で、目に見えないお金の流れによって自分がいくら使ったのか分からなくなったり、悪用される危険性があったりと怖い面もある。英語科には直接関係しない部分ではあるが、情報モラルを学習する良い機会なので、指導も単元を通して行っていく。

2-①目標に対応した評価規準の明確化

本単元では、買い物の場面で適切な表現等を使い会話を行うことを主な目標としている。そこで、値段をたずねる How much is this ~? という表現や、値段の言い方を正しく使えているかどうかを評価していく。また、同レッスンの中で触れる I' m ~./How many ~?などの表現も会話の中で使っていけるように指導していく。

・聞くことについて

〔知識・技能〕場面設定がない状態で、買い物で主に使う値段を伝えたりたずねたりする表現 How much ~?や、値段の言い方を聞き取ることができているかを評価する。主に教科書にある問題を使用して評価を行う。

〔思考・判断・表現〕買い物の場面で、相手が言ったことを聞き取り、それに対して必要な動作や返答ができているかどうかを評価する。この評価は、やり取りの部分とかかわりが大きいと考え、やりとりの思考・判断・表現と一緒に評価をする。買い物の場面で相手の情報を聞き取り、相手とやり取りを行うことができているかどうかを見取る。

〔主体的に学習に取り組む態度〕活動に取り組む際、相手が伝えようとしている情報をより具体的に聞き取ろうとしているかを評価する。日本語になってしまったとしても、相手のことを知りたいという態度が見られるかどうかを評価する。

・話すこと〔やりとり〕について

〔知識・技能〕買い物で主に使う値段を伝えたりたずねたりする表現 How much ~?や、値段の言い方が正しく使えているかを評価する。会話の中で自分の力だけで正しく表現を使っている場合はA評価、友達や教師の助言を受けながら表現を使うことができればB評価とする。

〔思考・判断・表現〕「買い物」という場面に応じて、値段を伝えたりたずねたりする表現 How much ~?や値段の言い方だけでなく、欲しい物の数をたずねる How many?や、~ please./Here you are. など、これまでに学んだ表現を使いながら会話をすることができているかどうかを評価する。主に店員側の表現について評価を行う。値段をたずねる表現 How much ~?や値段の言い方以外に、“Hello. How are you?” や “How many?” など2つ以上の既習表現等を使って会話ができればA評価、1つ以下ならB評価とする。

〔主体的に学習に取り組む態度〕活動に取り組んでいる様子や、振り返りカードの記述をもとに評価していく。中間指導や友達との会話の中で学んだことを自分の表現に取り入れているか、今後の生活の場面で生かしていく意欲が見られればA評価とする。振り返りを書く際は、児童に書く視点を与え、全員が目標に向かっていけるようにする。

5 単元の見目

買物の場合などで物の数や値段を伝え、たずね合うために、物の数や値段などの具体的な情報を聞き取り、内容を理解することができる。また、自分の気持ちや思いも含めて、自分から進んで物の値段について伝え、たずね合おうとする。

6 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと	<p><知識> 気分や状態、個数や値段などを表す語が分かる。</p> <p><技能> 気分や状態を表す語、持っている物の数や売っている物の価格などを聞き取る技能を身に付けている。</p>	<p>買物の場合などで物の数や値段を伝え、たずね合うために、物の数や値段などの具体的な情報を聞き取っている。</p>	<p>買物の場合などで物の数や値段を伝え、たずね合うために、物の数や値段などの具体的な情報を聞き取ろうとしている。</p>
話すこと(やりとり)	<p><知識> ①How many ～ ?/How much is this ～?などの表現について、理解している。</p> <p><技能> ①物の数や値段を伝え、たずね合う表現 How many ～ ?/How much is this ～ ?を用いて、自分の考えや気持ちを伝え合う技能を身に付けている。</p>	<p>表情やジェスチャーなどをつけて相手のことを考えながら、買物の場合などで物の数や値段を伝え、たずね合うために、既習の表現等も使いながら、場面に応じて欲しい物の数や値段をたずねたり答えたりして伝え合っている。</p>	<p>表情やジェスチャーなどをつけて相手のことを考えながら、買物の場合などで物の数や値段を伝え、たずね合うために、既習の表現等も使いながら、場面に応じて欲しい物の数や値段をたずねたり答えたりして伝え合おうとしている。</p>

7 単元計画 (10時間扱い 15分×15回 45分×5回)

		内容 C:Child A:ALT H:HRT T:HRT or ALT	評価規準
第1時	Eタイム 1/12	<p>○Song “RAIN, RAIN, GO AWAY”</p> <p>・大型テレビの画面が児童に見えないようにしておく (歌の写真を見せないため)</p> <p>①回目：イラストもなしで音声のみ聞かせる。 H:What did you hear? 「人の名前が出てきたけど、わかりましたか？」</p> <p>②回目：名前が聞こえたら挙手するようにして再度聞かせる。 H:What did you hear? 「何が聞き取れましたか？」 H:What’s this song about? 「どんな歌だと思いますか？」 児童からの発言を聞いたら、テレビのイラストを表示する。</p> <p>③回目：②同様。別の表現にして再度聞かせる。 「たくさん(繰り返し) 聞こえたのは何ですか？」 H:How many time ～ did you hear?</p> <p>④回目：たくさん聞こえた表現に注目させて(できれば既出ではないもの)再度聞かせる。また口ずさめる児童は口ずさむんで良いことを伝える。</p> <p>○数の拡張 外国語活動で1～99までは学習済みなので、簡単に復習。 100、200、300・・・の言い方や、131などの言い方を指導する。</p>	○単元の導入期のため、記録に残す評価は行わない。
	Eタイム	○Song “RAIN, RAIN, GO AWAY”	

	2/12	<ul style="list-style-type: none"> ・ RAIN、 Betty などの単語以外の聞き取りに注目させて聞かせる。 ・ ゆっくり→普通と速さを変えながらポイントを絞って聞かせる。 <p>○L. 2A Let's Listen を聞く。</p> <p>H: 「How are you?と聞かれて何と答えますか?元気でないこともありますよね。気分の言い方を見ていきましょう。」</p> <p>H:Let's listen. 「2人の会話を聞いてみましょう。イラストを見てどんな会話だと思いますか?」「イラストを見て英語で言えそうなものはありますか?」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ある程度会話の予測をさせてから聞かせる。 <p>H:What did you hear?</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 上記の問いで出てきたものが聞こえたら挙手させながら再度聞かせる。 <p>○L. 2A Let's Chant を聞いて口ずさむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 一回聞かせる <p>H:What did you hear? 「気分を表す言葉は聞えましたか?」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 気分を表す表現の時だけでいいので口ずさむ。 ・ 時間があれば、数人に今日の気分を聞く。 <p>○ランダムナンバーで数の練習をする。 ウェブ上のランダム抽選を使い、数の拡張を行う。</p>	
	E タイム 3/12	<p>○Song “RAIN, RAIN, GO AWAY”</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ RAIN、 Betty などの単語以外の聞き取りに注目させて聞かせる。 (go away, Come again, another day, wants to play) <p>○L. 2A Let's Listen を聞く。</p> <p>健太とエマはどんな会話をしていたのか想起させてから聞かせる。</p> <p>○L. 2A Let's Chant を聞いて一緒に口ずさむ。</p> <p>○L. 2A①の活動を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事前にイラストを見せてどんな気分なのか日本語で確認する。 (可能なら英語でも) ・ 集中して聞かせて、児童が指さした人が当たっているか確認する。 <p>H: 「聞いていて何か気づいたことはある?」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 気分を表す際は、気分の言葉だけでなくもう一文つけて補うことや、表情や声色等も大切であることに気づかせたい。 <p>○ランダムナンバーで数の練習をする。 ウェブ上のランダム抽選を使い、数の拡張を行う。</p> <p>○単元のゴールを伝える。</p>	
第 2	E L 1/4	○Warm Up	○記録に残す評価は行わない。

時		<p>song “RAIN, RAIN, GO AWAY”</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1 回目は聞かせ、2 回目は言える部分を児童と一緒に口ずさむ <p>○Let`sListen を一緒に口ずさむ。</p> <p>○Today`s Point</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>クラスの友達の気分を聞いたり、今の自分の気分を伝えたりしよう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本時の活動への動機づけを行う。 ・ ALT との気分のやり取りの会話から自然な流れで行う。 <p>○L2A②の活動を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 登場人物の気分を聞いてみるという設定で聞かせる。 ・ ALT に登場人物になりきってもらい、気分を聞いてみる。 <p>C:How are you?</p> <p>A:I` m ~.</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 登場人物になりきって気分を言ってみる。 <p>A:How are you?</p> <p>C:I` m ~.</p> <p>○L2A③の活動を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 初めにどの気分がクラスで多いか、予想する。 ・ ペアで会話をする。自分の気持ちを先に伝え、相手の気分を聞く。 ・ 列ごとにずれながら、全員と会話をする。友達の気分を教科書(P37)の表に記録する。英語での数え方を使って描く。 <p style="text-align: center;"> </p> <p>○L2A④の活動を行う。</p> <p>② ひとまとまりになっている単語「bag」を ALT に発音してもらう。</p> <p>②一つ一つのアルファベットに分けて読ませる。</p> <p>H:「2つを聞いて何か気づいたことはある？」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ アルファベットの名前と音の違いに気付かせる。 <p>③抜けているアルファベットを書く。</p>	
第3時	E タイム 4/12	<p>○Song “RAIN, RAIN, GO AWAY”</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1 回目→教師が大型提示機で歌詞を指で追いながら児童に聞かせる。 ・ 2 回目→自分で歌詞を指で追わせながら聞かせる。 <p>○気分の聞き取りテスト（ワークシート準備）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ P34 と P35 の 5 と 11 を聞く ・ 聞こえた気分のところに○をつける <p>○L. 2B Let`s Listen を、イラストを見ながら聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ イラストを見てどんな会話か予想させる。 ・ 言えそうな英語があるか問う。 <p>1 回目後→聞こえた単語を発表する。</p> <p>2 回目→聞こえた単語が出てきたら挙手させながら聞かせる。</p>	<p>【知】聞気分や状態を表す語が分かる。</p> <p>【技】聞気分や状態を表す語を聞き取る技能を身に付けている。 (オクリンク)</p>

		<p>○ランダムナンバーで数の練習をする。 ウェブ上のランダム抽選を使い、数の拡張を行う。</p>	
	E タイム 5/12	<p>○Song “RAIN, RAIN, GO AWAY” ・歌詞を指で追わせながら口ずさむ。</p> <p>○L. 2B Let’s Chant を聞く。 ・数をたずねる英語が聞こえたか問う。 ・How many が聞こえたら挙手をさせてもう一度聞かせる。</p> <p>○L. 2B①の活動を行う (1①) 隣の人と「21 を言ったら負けゲーム」をする。 (1②) 隣の人と「121 を言ったら負けゲーム」をする。 100～121 を 1 人 3 つまで数を言えることを条件に順に言わせ、最後に 121 を言った方が負け (2) 物の数をたずね、答える表現をよく聞いてその内容と合う数字を書く。→再度聞かせる。</p>	
	E タイム 6/12	<p>○Song “RAIN, RAIN, GO AWAY” ・歌詞を指で追わせながら口ずさむ。</p> <p>○L. 2B Let’s Chant を口ずさむ。 ・役割分担等で飽きさせないようにする。</p> <p>○隣の人と「265 を言ったら負けゲーム」をする。 240～265 を 1 人 3 つまで数を言えることを条件に順に言わせ、最後に 265 を言った方が負け</p> <p>○p. 34. 35 を見て、物の数を聞いていく。 H: In this picture. How many balloons are there? How many books are there? . . .</p> <p>○ランダムナンバーで数の練習をする。 ウェブ上のランダム抽選を使い、数の拡張を行う。</p>	
第 4 時	E L 2/4	<p>○Song “RAIN, RAIN, GO AWAY” ・穴あき歌詞を提示し、4 択クイズを行う。</p> <p>○L. 2B Let’s Listen を聞く。 ・どんな会話だったか問う。 ・今まで聞こえた英語を言わせ、ALT に発音してもらおう。 ・言えるところは一緒に言ってみる。</p> <p>○L. 2B Let’s Chant を口ずさむ。</p> <p>○L. 2B②の活動を行う (1) 音声を聞き登場人物たちの鉛筆の数を数える。 (2) HRT と ALT で持っている鉛筆の数についての会話をする。 (3) ALT が児童の持っている鉛筆の数を尋ねる。</p>	

		<p>慣れてきたら全員で尋ねる。</p> <p>○Activity「友達の色鉛筆の本数を尋ねよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペアで友達の色鉛筆の本数を尋ね合い、名簿へ記録していく。 <p>○L. 2B④を行う。</p> <p>(1) ink を児童に見せてどんな読み方をするか尋ね、その後 ALT に読んでもらい、続けて読む。</p> <p>(2) i, n, k のアルファベットの名前、読み方を確認し、何か感じることはないか問う。それぞれの読みをつなげていくと、1 つの単語になることに気づかせる。</p> <p>(3) 抜けている文字を書く。</p> <p>○L. 2B⑤を行う。</p> <p>それぞれの漢字が何画かを尋ねる質問をよく聞いて画数を書く。</p> <p>ALT に質問してもらい児童に答えさせ、答え合わせを行う。</p>	
第5時	E タイム 7/12	<p>○Song “RAIN, RAIN, GO AWAY”</p> <ul style="list-style-type: none"> ・HRT が大型提示機を使って指で歌詞を追いながら児童とともに歌う。 ・慣れてきていればアカペラで歌ってみる。 <p>○L. 2C Let’s Listen を、イラストを見ながら聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イラストを見てどんな会話か予想させる。 ・言えそうな英語があるか問う。 <p>1 回目→聞こえた英語を発表させる。</p> <p>2 回目→聞こえた英語の時に挙手をさせて聞かせる。</p> <p>○L. 2C Let’s Chant を聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・値段をたずねる英語が聞こえたか問う。 ・How much が聞こえたら挙手をさせてもう一度聞かせる。 <p>○隣の人と「683 を言ったら負けゲーム」をする。</p> <p>661～683 を 1 人 3 つまで数を言えることを条件に順に言わせ、最後に 683 を言った方が負け。</p> <p>○ランダムナンバーで数の練習をする。</p> <p>ウェブ上のランダム抽選を使い、数の拡張を行う。</p>	<p>【知識】聞</p> <p>① How many ～ ?/How much is this ～?などの表現について、理解している。</p> <p>【技能】聞</p> <p>①物の数や値段を伝え、たずね合う表現 How many ～ ?/How much is this ～?を用いて、自分の考えや気持ちを伝え合う技能を身に付けている。</p>
	E タイム 8/12	<p>○Song “RAIN, RAIN, GO AWAY”</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指で歌詞を追いながら歌う。 ・慣れてきていればアカペラで歌ってみる。 <p>○L. 2C Let’s Listen と L. 2C Let’s Chant を聞いて、口に出して言う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前時に何度も聞いて内容を確認しているリズムを意識して言う。 <p>○L. 2C②を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題に出てくるものの言い方を確認する。H: What’s this? ・お客さんになったつもりで音声の後に続いて値段を尋ねる。 ・音声を聞いて、それぞれの値段を書く。 <p>○ランダムナンバーで数の練習をする。</p> <p>ウェブ上のランダム抽選を使い、数の拡張を行う。</p>	
	E タイム 9/12	<p>※詳細は本時の展開</p> <p>○1～999 の数字を英語で正しく聞き取ったり、言ったりする。</p>	

	(本時)	<p>○教科書 p 41③の活動（物の値段を尋ね合う）を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タブレットを使用してランダムで値段を決定する。 ・互いの物の値段を尋ね合い、一番安かったものを最後に記録する。 	
第6時	E L 3/4 (本時)	<p>※詳細は本時の展開</p> <p>○Song “RAIN, RAIN, GO AWAY”</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1回目は歌詞無しで歌う。 ・2回目は穴あき歌詞を見ながら歌い、歌い終わった後、4択問題でどの単語が入るか挙手で確認する。 <p>○Small Talk</p> <ul style="list-style-type: none"> ・HRT と ALT が林間学校での買い物をテーマに会話を始め、この後行う「買い物練習」のデモンストレーションをする。 <p>○Activity 「林間学校の買い物練習」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各グループ店員2名、買い物客1名に分かれ、3ローテーションで買い物を行う。 ・オクリンクのカードを商品に見立てて買い物を行う。 ・会計はQRコードを読みこんで行う。 ・店側は、会計担当と発送担当に分かれて行う。 	<p>【思・判・表】聞 買い物の場面などで物の数や値段を伝え、たずね合うために、物の数や値段などの具体的な情報を聞き取っている。</p> <p>【思・判・表】や 表情やジェスチャーなどをつけて相手のことを考えながら、買い物の場面などで物の数や値段を伝え、たずね合うために、既習の表現等も使いながら、場面に 応じて欲しい物の数や値段をたずねたり答えたりして伝え合っている。</p> <p>【主】や 表情やジェスチャーなどをつけて相手のことを考えながら、買い物の場面などで物の数や値段を伝え、たずね合うために、既習の表現等も使いながら、場面に 応じて欲しい物の数や値段をたずねたり答えたりして伝え合おうとしている。</p>
第7時	E タイム 10/12	<p>○Song “RAIN, RAIN, GO AWAY”</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元後半のため、楽しく歌う。 <p>○L. 2C④を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) run を児童に見せてどんな読み方をするか尋ね、その後 ALT に読んでもらい、続けて読む。 (2) r, u, n のアルファベットの名前、読み方を確認し、何か感じることはないか問う。それぞれの読みをつなげていくと、1つの単語になることに気づかせる。 (3) 抜けている文字を書く。 <p>○L. 2C⑤を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 1冊あたりの値段を計算して書く。 	

		(2) 音声を聞いて合っているかを確認する。	
	E タイム 11/12	○Song “RAIN, RAIN, GO AWAY” ・ 単元後半のため、楽しく歌う。 ○Scene2 の聞き取りテストを行う。 ・ 登場人物の気分、持っている CD の数、コップやハンカチの値段などを聞き取ることができるかのテストを行う。穴埋め形式のワークシートで、日本語で答えさせる。 ○Shaggy’ s Story を聞く。 ・ どんな会話をしていたか問う。	
	E タイム 12/12	○Song “RAIN, RAIN, GO AWAY” ・ 単元後半のため、楽しく歌う。 ○Use & Check①を行う。 ・ 内容と合うように線で結ぶ。 ○Alphabet corner を行う。 ○Scene2 を細かい部分まで聞いてみる。 H:Special day と言っていたのは聞こえましたか？5 月にはどんな休みがありますか？	
第 8 時	E L 4/4	○Song “RAIN, RAIN, GO AWAY” ・ 単元後半のため、楽しく歌う。 ○Scene2 を聞く。 ・ 意味や場面をイメージしながら聞かせる。 ○Activity ・ 友達の持っているものや身に付けている物の数を尋ねる会話 ・ 友達の持ち物の値段を尋ねる会話	【主】聞 買い物の場面などで物の数や値段を伝え、たずね合うために、物の数や値段などの具体的な情報を聞き取るうとしている。 【知識】 ① How many ~ ?/How much is this ~?などの表現について、理解している。 【技能】 ①物の数や値段を伝え、たずね合う表現 How many ~ ?/How much is this ~?を用いて、自分の考えや気持ちを伝え合う技能を身に付けている。

8 本時の展開

① E - タイム (第9回目)

目標: How much is this ~? /It' s ○○yen. を用いて、物の値段を尋ねたり答えたりする。

準備: タブレット端末 タブ

○展開

時間	○児童の活動	・指導者の活動	準備物
0.5分	○挨拶をする。	<ul style="list-style-type: none"> 学習の準備を整えさせ、挨拶をする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> H: Let' s start our English lesson. Stand up. Good morning everyone. </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> C: Good morning. Mr. Johnny. </div>	タブ
5分	○How much is this ~?と、It' s ○○ yen. を聞いたり、言ったりする。	<ul style="list-style-type: none"> 教師が大型TVに身近な食品の写真を提示し、値段を尋ねる。児童は自分が思う値段を英語で答える。 教師が言った数字を聞き取り、タブレットのオクリンクのカードに記入する。教師はライブモニタリングを使って児童がどの程度正確に聞き取ることができているか確認する。 	タブ 大型TV
9分	○教科書 p 41③の活動 (物の値段を尋ね合う) を行う。	<ul style="list-style-type: none"> デジタル教材の音声を聞いて、やり方を理解させる。 前時にカップ、傘、ハンカチのそれぞれの値段を設定しておく。 How much is this...?や It' s ○○yen. を使って友達の価格を聞かせる。 聞いた中で一番値段が安かった値段を聞いて発表させる。 <p>◎How much is this ~?/It' s ○○yen. を用いて、物の値段を尋ねたり答えたりする技能を身に付けている。【知識・技能】観察で評価</p>	タブ
0.5分	○挨拶をする。	<ul style="list-style-type: none"> E - タイムLでのゲームに意欲と自信をもって臨めるように声かけをする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> H: That' s all for today' s E-time. Everyone stand up. </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> C: Thank you very much, Mr. Johnny. </div>	

②E - タイムL (第3回目)

目標：林間学校でのお土産を買うために、物の値段を尋ねたり、3桁までの数を使って値段を答えたりすることができる。

準備：CD CD デジタル教材 デ教 タブレット端末 タブ 振り返りカード 振力
 ピクチャーカード カード

○展開

時間	○児童の活動	・指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
0.5分	○挨拶をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の準備を整えさせ、挨拶をする。形だけにならないよう、丁寧に気持ちの良い挨拶を行う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> H: Let's start our English lesson. Everyone stand up. Hello, everyone. C: Hello, Mr. Kitamura. Hello, Ms. Sonia. A: How are you today? C: I'm good, thank you. How about you? A: I'm good, too. Thank you. How is the weather today? . . . </div>	
4分	○“RAIN, RAIN, GO AWAY”を歌う。	<ul style="list-style-type: none"> ・1回目は歌詞なしで歌わせる。 ・2回目は穴あき歌詞を掲示して歌わせる。4択でどの歌詞が入るのかを問う。今回は“day”を隠す。 	タブ
10分	○Small Talk を聴く。	<ul style="list-style-type: none"> ・この後に行う児童同士の会話につながるように同じような流れで行う。 ・買い物に行く場面で会話をし、HRT は買い物客、ALT は店員役で行う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> H: I will go to YAMANASHI. Oh, I can see the souvenir shop. A: Hello. How are you. H: I'm good thank you. Oh! It looks delicious. What's this? A: It's a ○○. H: How much is this ○○? A: It's △△ yen. H: OK. 1 please. A: OK. Here you are. H: Thank you. </div> <ul style="list-style-type: none"> ・会話の後、お客さんになりきって、HRT と一緒に残りの品物の値段を全員で聞く活動を行う。 ・上記の会話後、店員側になりきり、ALT に尋ねられたものの値段をこたえる活動を、全員で行う。 	タブ
1分	○めあての確認をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴールとなる活動を行うことを伝え、意欲を高めさせる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 80%;"> 2000 円で林間学校の買い物練習をしよう。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・実際の林間学校でも、限られた時間の中で買い物を行うことを再度伝え、本番と同じ気持ちで取り 	

		組むように声掛けする。	
25分	○「林間学校の買い物練習」を行う。	<p>C1: Hello. C2: Hello. How much is this ~? C1: It's ~ yen. C2: OK. 1 please. C1: OK. Here you are. C2: Thank you.</p> <ul style="list-style-type: none"> ・値段を聞く必然性をもたせるために、店側の商品一覧表には値段は載せず、売っている物の写真のみ記載させる。 ・ペアで店を経営させ、一人は品物送信役、もう一人は接客と会計を行わせる。基本的に接客担当者が会話を行う。 ・客側は自分の欲しい物の値段を聞き、予算等を考えたうえで購入する。値段を聞いて買わないという選択も許容する。しかし、時間も考えて買い物をするよう声掛けをする。 ・購入する際は、カメラアプリで値段が表示されるQRコードを読み取り、値段が表示されたら購入完了とする。 ・購入したものは発送担当者からオクリンクのカードで送られてくる。数と値段を確認させる。 ・目標文以外の会話や、児童が言いたいことに対しては積極的に机間指導をしていく。 ・全体に広められそうな内容は、途中の時間で指導を行う。 ・終了後、良い会話をしていた店員さんや買い物客をALTや児童に発表してもらう。 <p>◎2000円以内で買い物をするために、自分の欲しいものの値段を尋ね、買う数などを工夫しながら会話をしている。</p> <p style="text-align: right;">【思考・判断・表現（聞）】 【思考・判断・表現（や）】 【主体的に学習に取り組む態度（や）】 観察で評価</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">タブ</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">WS</div>
4分	○振り返りを書く。	<ul style="list-style-type: none"> ・単元のゴールの活動を行い、できるようになったことや次に生かしたいことを振り返らせる。(今日の授業で何ができたのか、何が足りなかったのか。) 	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">振力</div>
0.5分	○挨拶をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶をする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>H: That's all for today's English lesson. Everyone stand up. Thank you very much. C: Thank you very much, Mr. Kitamura.</p> </div>	

